

くなさの間であるわけですが、これは考え抜いて何か結論を思っています。

不況対策

高見 忍 議員（21政会）
厳しい経済状況の中で中小企業が光明を見出せ、

リストラに不安を感じる働く人たちが少しでも安心できる支援対策を実現することが、安全・安心のまちづくりは何よりも強く求められる重要な課題。不況対策、中小企業対策、労働者対策の取組状況についてはどうか。また、遊休農地が多く点在しているが、それらを集約し、斡旋して雇用対策を図っていく考えは。100年に1度と言われる経済不況により、市内でも売り上げの大幅な減少、操業日数の削減、派遣職員の雇用調整等、市内企業や労働者にも深刻な影響が及んでいることから、市長を本部長とする全庁横断的な対策本部を設置し、公共職業安定所、兵庫県、雇用開発福祉協議会、商工会議所等と緊密に連絡をとりながら、市内経済の早期回復と失業者、求職者に対する就業支援等について検

討したいと考えています。中小企業対策としては、国の緊急保証制度とセーフティネットの規模拡大、県の中小企業事業融資制度の融資額の拡大等があり労働者対策としては、雇用開発福祉協議会、商工会議所と連携し、年2回の合同就職面接会、年1回の就職情報誌発行、同協会のホームページによる求人情報の発信等を行い、平成21年度についても、合同就職面接会の実施回数を増やしていくことで調整を進めています。市としては、国の緊急雇用対策事業や、一般職員の追加採用等について、取り組みたいと考えています。

加西市の放棄田の率は少ない現状ですが、担い手不足等、大規模認定農家においても経営が難しいと聞いていますので、今後取り組んでいきたいと考えます。

地産地消と加西ブランドの農業振興

山下光昭 議員（公企クラブ）
「地産地消」の原点は、

地元で採れたものを地元で消費するにあり、生産者と消費者を結び施設として、市内に大きくは、①愛菜館（JA）②

森ガハナ③里人会の3ヶ所があり、それぞれ特徴ある直売所として地域に根を下ろして頑張っておられる。愛菜館については、平成17年6月、当初、生産者100名のスタートから、現在では159名が会員として登録されている。売り上げの順調な伸びは、栽培履歴の義務付けと厳しい品質チェック、会員の切磋琢磨の努力、加えて朝どり野菜の新鮮さが「安全・安心のブランド」として、消費者に支持されていると考えられる。「地産地消」の拠点に対する、適切な支援の考えはどうか。

愛菜館については、建設過程におきまして、農家を核とした地域づくりの拠点となることを見込んで市費を投じております。しかし運営に関しては、愛菜館運営協議会が中核を担って運営されており、行政としては、JA・農業改良普及センター等と協力してオプザバー参加として、講習会や講演会PR活動等に協力しています。

「地産地消」の原点は、地元で採れたものを地元で消費するにあり、生産者と消費者を結び施設として、市内に大きくは、①愛菜館（JA）②



集落営農組合の実態について

三宅利弘 議員（21政会）
加西市における集落営農数は平成20年度で55組織

が立ち上がっており、それぞれの集落に見合った経営をされているが、かなり温度差がある。形態や運営状況をどのように把握しているのか。

また、集落営農の必要性、認識と支援についての見解は。各営農組合は、高齢化やオペレーター等作業従事者の確保に苦労しており、水田経営所得安定対策や、産地づくり交付金がなければ経営が立ち行かなくなるといふ組織が多数と考えられます。

元々加西市は県内有数の農業生産基地でしたが、今ではプロフェッショナルの農家や、大規模農業を営む農家が激減しています。農業を守っていくには集落営農は必要ですが、今はさらに先をいく農業に対する取り組みが必要とも思っています。農地法の改正等により、農業への新規参入も促進し、大規模にやっっていく取り組みと、生産量は少ないけれどもこだわりのものを多品種少量での取り組み、いろんなものがあっていいと思います。集落営農一本で農業をやっっていく必要はないと思っております。加西市はそれぞれの農業者が主体的に将来の農業の仕組みを考えていけるべきだと考えています。

副市長2人制について

桜井光男 議員（21政会）
市長、副市長は夫婦の間柄で、副市長は市長の女

房役と例えられるが、市長と副市長は市政運営において、上手くコンタクトがとれているのか。また、もう1人副市長を増やし、副市長2人制にする話もあるが、加西市の人口では副市長は1人で十分だと思ふ。優秀な部長や課長を育てれば良いと思ふがどうか。副市長を2人にするならば、給料がどれくらい増えるのか。

決裁等でお互いに部屋を行き来しており、コミュニケーションは十分とれています。民間企業、他の自治体も備えていながら、加西市役所になんかの人がたくさんあり、そういう行政のインフラをつくり上げていくのが、正副市長の役割だと思